



# 九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.380

2022(令和4)年8月15日(月)発行

重いです!約15kg

**福島県にも模擬原子爆弾を投下** 米軍は1945年7月20日以降訓練のため、原爆そっくりの模擬原爆(重さ4.5トン)49発を全国30都市に投下し400人以上が死去。7月20日に福島市といわき市に、7月29日に郡山市に2発の模擬原爆が投下され、福島市で14歳の少年1名、郡山市では39名が犠牲に。そして8月6日広島に、9日に長崎に原爆を投下しました。

## 福島の小児甲状腺がん293人に 6人が東電を提訴

摘出手術を受け生涯薬を飲み続け、結婚や出産は...

●原発事故の放射線被ばくで甲状腺がんを発症した福島県の子どもたち●事故から2年後の2013年2月に初めて3人が発見され、その後増え続け、今年1月に293人(266+27人)になり、うち222人が摘出手術を受けました●しかし福島県も医師団も「原発事故の被ばくとは考えにくい・過剰診断のために発見されている」と発表し、11年後の現在も原発事故との因果関係を認めてはいません。



▲朝倉悠三さんの「震災絵日記」  
“見えないものにおびえる日々”

現在17~27歳になった男女6人の患者たちは、事故との関連を認めるよう今年1月27日に東京電力を提訴しました。

月刊誌 賀

2022年5月15日 第369号

○原発事故で南相馬市原町区から滋賀県大津市に避難している青田勝彦さん(会員)は、「3・11子ども甲状腺がん裁判」弁護団長の井戸謙一弁護士と知り合いで、今年5月号の『月刊誌賀』で、裁判の支援を訴えています。

### 「原発を無くすまで」

青田勝彦 (滋賀県大津市・会員)

#### 甲状腺がん裁判始まる

事の始まりはこうでした。

今年の1月27日、小泉純一郎、菅直人氏等首相経験者5人がEUの欧州委員会宛に送った書簡に東電福島第一原発で「多くの子供達が甲状腺がんに苦しむ・・・」との表現が含まれていた事でした。

最初に山口環境大臣が2月1日「この表現が放射線の健康影響に関する差別や偏見につながる恐れがあるから適切でない」と考える」と5人に書簡を送りつけました。そして翌日の国会でも岸田首相が「適切でない」と言明しました。すると3日には福島県の内堀知事もこの流れののって5人に抗議し、その中で「専門家による県民健康調査検討

委員会で、甲状腺がんと放射線被ばくの関連は認められない」との見解が示されているとし、「福島復興のためには、科学的知見に基づいた正確な情報発信が極めて重要である」と強調しました。

この記事を読んで、政府・自民党・福島県は寝た子を起こされた!と怒っているんだなあと思いました。あの事故の後、本来は1年間に百万人中1~2人しか発生しないとされる極端に稀ながんが、事故後の福島県で、わかっているだけでも293人(福島県民健康調査で266人、それ以外で27人)もの子供に発見され、福島県民健康調査で発見された266人中、すでに222人が摘出手術を受けているのです。

### 「3・11子ども甲状腺がん裁判」を支援しませんか

弁護団長 井戸謙一 弁護士  
副団長 河合弘之・海渡雄一 弁護士

311子ども甲状腺がん裁判 寄付振込先

郵便振替  
記号:00170-7 番号:393240  
口座名:311甲状腺がん子ども支援ネットワーク  
ゆうちょ銀行  
店番:〇一九支店 当座預金 口座番号:0393240  
口座名:311甲状腺がん子ども支援ネットワーク

# 南相馬市博物館で10月から“原爆展”を開催 「相双地方の被爆体験を伝え継ぐ -証言 ヒロシマ・ナガサキのこと-」 写真パネル、広島での被爆瓦、丸木夫妻作『原爆の凶火』(複製)などを展示



今から約40年前、相双地区の10名ほどの市民と高校教員が中心になり、核兵器廃絶をめざす「原水爆を考える原町市民の会」(会長古山哲朗さん)を発足させ、市内で映画『にんげんをかえせ』の上映会や原爆展を開催しました。さらに1983(昭和58)年には相双地区に住む広島・長崎の被爆体験者20名を探し出し、被爆の体験談集『私も証言する-ヒロシマ・ナガサキのこと』(B6判・198ページ)〈左コピー〉にまとめて出版しました。

そして今回、南相馬市博物館(原町区牛来)ではこの被爆体験談集を元にして、10月22日(土)から12月11日(日)まで「原爆展・相双地方の被爆体験を伝え継ぐ」を開催します。

おもな展示は、①原爆の写真パネル、②広島で被爆した屋根瓦の現物、③相双地区の被爆者の状況、④丸木夫妻「原爆の凶火」(複製)、⑤相馬高校放送局が制作した“被爆者のテレビ番組”2作品の放映、⑥ウクライナの子どもの手紙と絵など。

南相馬市は合併後の2009年6月24日に「核兵器廃絶平和都市宣言」を再宣言し、この企画展も市政を反映した行事です。  
(旧「原水爆を考える原町市民の会」事務局・本会事務局 山崎健一)

▲『私も証言する』は三刷で計3000部を発行し、販売したり、約半数を全国の図書館や学校に寄贈しました。お読みになられた方も多いと思います。



## 総大将は14歳 コロナ禍 相馬野馬追祭を開催

3年ぶりの通常開催の相馬野馬追祭。雲雀が原での騎馬武者350騎、甲冑競馬と神旗争奪戦の観客2万人。総大将は14歳の相馬言胤としたねさん、相馬中村藩主33代和胤かずたねさんの孫で、父は行胤みちたねさん。

## 《事務局より》 会費の納入ありがとうございます

ゆうちょ銀行をはじめ金融機関の送金料が高くなり、会員の皆さまにご負担をおかけして、事務局員一同大変心苦しく思っています。納入に感謝し、意義ある活動のため頑張ります。

参議院選挙で、改憲を目指す政党勢力が3分の2を超え、いよいよ大変な状況になってきました。でも私たちは現在の憲法の世界史的な意義や大切さをさらに学習して、自民党の改憲案の問題点を指摘し、憲法を護り「戦争しない国 日本」の堅持を主張していきたい。

### はらまち九条の会 事務局

○会長: 平田慶肇 TEL(0244) 24-1211

○事務局長: 早坂吉彦 TEL090-2975-2508

○事務局次長: 山崎健一(福島市) TEL090-7527-5453 Eメール: yamazakiken1@gmail.com

○会計: 井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL22-7511・FAX26-0892

○石田賢二(郡山市) TEL080-5556-4037 ○番場恵子 TEL22-0715 ○大浦祥見 TEL24-0704

○志賀勝明(相馬市) TEL090-9530-5524 ○若松麟二 TEL090-4929-7227 ○田中徳雲(小高区)

原町区 茨佐 持子 御堂 甲 山崎 健一  
あなたがいつか話してくいた  
伊と僕はずねて来た  
(追悼 山本コウタロー  
「山甲めぐり」)